

# 「箸よく盤水を回す」は 本当だった

大阪府 古松<sup>こまつ</sup> 育代<sup>いくよ</sup>



鍵山先生は、私たちにお手本を示してくださる如来さま、いつも心の支えでした。

2008年、教師生活25年目の私が赴任した中学校は、授業もまともにできない状態で、先生

方が次々と休職・退職されていました。明りが見えず、もがいていたとき、教師塾で出会ったのが大谷育弘先生でした。

先生は、「トイレ掃除をしましょう」と、「大阪便教会」、「掃除に学ぶ会」の皆さんに声をかけてくださいました。皆さんは本当に熱心に考えてくださり、その年だけで4回来てくださいました。校長先生も、100個のおにぎりを用意してお迎えされました。

「西宮掃除に学ぶ会」の久井勝明さんは、中学生8名を丹波篠山で里山一日体験に誘ってくださいました。そして、やんちゃな子たちは、卒業式の前に学校中の壁をペンキできれいに塗ってくれたのです。

その後も、「掃除に学ぶ会」を

夏休みに行い、学校は3年間で落ち着いていきました。生徒は学習に取り組み、行事もできるようになり、特に体育大会は最高の思い出です。「とにかく毎日が楽しかった」と、当時の生徒が今も年賀状をくれます。荒れた学校は天国のようになりました。

私自身は、通学路のごみ拾いを続けています。転勤するたびに、「後は私がやります」と、校長先生や先生方が言ってくくださるのありがたいと思っています。

今の学校では、ご近所のフェンスと側溝の掃除に取り組んでいます。持ち主の方も掃除をされるようになりました。

『箸よく盤水を回す』をしみじみ感謝する今日この頃です。

(542・064 大阪府大阪市中央区上汐1-3-13)

## 三ヶ根山で掃除の会を

三重県

ながの  
長野

さよこ  
佐代子



2017年11月、愛知県蒲郡へみかん狩りに行ったときに、西尾市の三ヶ根山(さんがねさん)のことをバスガイドさんの案内で知りました。その3日後夫と行ききました。このような地が日本にあったことにびっくりしました。

入口の高さ5尺の石碑に、「殉

国七士廟」と彫られており、奥の慰霊碑の下には、A級戦犯7人の遺骨が納められています。また、三ヶ根観音には87基の慰霊碑があり、日本に帰国できなかった1万7千人近くの方が祀られています。

後に母を連れてお参りさせていただいたとき、母は「こんな場所があったなんて、知らずに人生終わるところやったわ」「ありがとう」と、私にまで何度も手を合わせておりました。改めて、日本という国で生かされていることに感謝でいっぱいです。

阿部豊・講演録『ひたすら鍵山掃除道』を読み、相談役もこの地を訪れお掃除されたことを知りました。西三河の竹中義夫さんは、毎月第二土曜日お掃除を続

けてみえることも知りました。

三重県立飯南高校の掃除の会をさせてもらった際に、相談役からお掃除の道具をいただいで20年がたちました。

いま、地元では小学校のトイレ掃除や商工会女性部掃除の会などを毎月定例で行っています。

三ヶ根山は、松阪の知人を誘って毎月お掃除に出かけています。私はここで、「三ヶ根山掃除に学ぶ会」を開催できればという思いが日々ふくれあがっています。が、実現にはいたっていません。

一人でも多くの掃除仲間はこの地に足を運んでいただき、三ヶ根山のことをお伝えしたいと心から願っています。二度とない人生を生きるために。

(515-1501 三重県松阪市飯高町下滝野1148)

## 47歳からの掃除人生

愛知県

杉浦 すぎうら

三代枝 みよし



1995年、大正村で鍵山秀三郎先生と出会い、大変貴重なお話を伺って、深く感激しました。

そのとき出会った竹中義夫さん・新美文二さん・犬塚さんら数名で、掃除に学ぶ会の発足を決めた、1996年6月第1回「西三

河掃除に学ぶ会」を開催しました。

最初は、段ボール箱に掃除道具を詰めて行きました。当時私もまだ若く、1年で十数か所の学校で掃除に学ぶ会を開催し、子どもたちと汗を流し、積極的に活動しました。

特に印象深い活動は、10年間にわたり、三河湾の日間賀島で開催した「西三河掃除に学ぶ会年次大会」です。ミュージシャンが参加したり、各地から120名の掃除仲間が集まる盛大なイベントとなりました。また、2017年には「台湾美化協会」を招き、知立市で年次大会を開催。たくさんの方と出会いました。

会社では、毎年、近隣企業10社合同で新入社員トイレ掃除研修を行っております。また、10年前よ

り、毎月1日朝5時半より、社長と有志で、碧南市の運動施設数か所のトイレ掃除をしております。

現在、パートさんを含む社員260名。日々掃除に励み、自主性を持って業務に取り組んでくれています。

私は、トイレ掃除によって人の心の痛みや思いやりの心、喜びがわかるようになりました。またたくさんの方と出会い、そのお陰で自分自身は成長できたと感謝しております。

掃除道を学んで、自分が変わり、会社が変わり、人生が変わりました。このような体験を、次世代の人にも是非経験していただき、掃除道の文化を伝えていきたいと思っております。

(4470857愛知県碧南市大浜上町3-85-1)

## 「自分一人から」はじめよう

宮崎県

ひだか  
日高

えみこ  
恵美子



私は今までたくさんの方の尊敬すべき人に出会ってきましたが、なかでも一番尊敬する人が鍵山秀三郎さんです。鍵山さんは、「ど

うやったら人を喜ばすことができるか」ということを、いつも考えているんです。

鍵山さんはこう言います。「自分のような人間が世の中にたくさん増えたら、この国は良くなるか？ それとも悪くなるか？ そういうことを皆さんも考えてみてください」と。

私たち一人ひとりが、思いやりの気持ちで人を喜ばそうとするだけで、この国はたちまちよくなっていくと思います。だから私は「自分一人くらいは」とは思わないで、「自分一人から」と思うようにしています。この国を良くするのは、総理大臣でもなければ外務大臣でもないんです。一人ひとりの生き方なんです。

鍵山さんから教えられたこと

は、ほんとうにたくさんあります。物を大切に丁寧に扱う。旅行や出張でホテルに泊まるときは、必ず寝間着、洗面用具を持参して、ホテルの使い捨ての備品は使わない…。

どんな小さなことでも、こつこつやり続けると、十年で偉大な力になり、二十年で恐るべき力となり、三十年でひとつの歴史になる、などです。

人間は、自分の心を磨くことはできませんが、トイレ掃除を続けていると、知らず知らずのうちに心が磨かれ、謙虚になっていくのです。人は誰かに喜ばれることをして、お友だちがたくさんいる、これが人生にとって一番いいことではないかと思うんです。

(880) 宮崎県宮崎市橘通西2-7-25

## 東日本大震災

### がれきに咲く心の花

宮城県

浅野<sup>あさの</sup>

仁美<sup>ひとみ</sup>



一面が色をなくした泥の世界。津波が引いた後たどり着いた小学校の避難所で、泥や物と明らかに違うものがあった。それは避難者が捨てた、たばこの吸い殻だった。避難者として生活を始めた私の、翌朝からの仕事は吸い殻拾いであった。

避難所を預かることになり、仮設トイレの掃除に疲弊したとき、日本を美しくする会と出会った。被災一か月半後だった。

延べ千人の避難者が使用する仮設トイレ。そして、震災翌日から校舎裏に野積みされた雨ざらしの段ボール。清掃後のそれらの場所は、すがすがしいほど美しくなった。仮設トイレは新品のようになり、段ボールは整列して回収を待っていた。

がれきと泥だらけの場所に、新しく落とされた吸い殻は目立つ。ここにいたくないと言っているようだった。汚れが「お願いします」とささやいて、掃除人はその声に応えていた。トイレを掃除するのではなく、床を、壁を、便器を、隙間を、みぞを掃除してい

く。目で見て汚れを落とし、心で応えてすがすがしさを残す。

私が避難して吸い殻を拾い始めたのは、日本を美しくする会と出会う準備運動だったのかもしれない。ゴミはゴミを呼ぶが、思いは人を呼ぶ。一度きれいになると、人は真の美しさを知り、そして汚さなくなる。

私の担当した避難所は、清潔で安心安全な場所として被災者を守り続けた。大阪便教会の皆さんには、手付かずだった自宅のがれきを片付けていただいた。

助けてもらうことをためらっていた私に、彼らは「させていただいてありがとう」と言う。掃除道は、がれきの中に笑顔の花を咲かせた。(元避難所リーダー)

## 箸よく盥水(かんすい)を回す

大阪府

浅井

周英



和歌山市生まれの私は、1960年4月大阪市の公立中学校教諭になった。日教組全盛時で、全教職員70余名のうち、非組合員は私一人であった。

教員ストライキのときは、生徒を学校に残し、みんなストに参加した。私は一人学校に残り、校庭のゴミ拾いを始めた。当然私への

風当たりは強く、いやがらせも続いたが、まったく屈しなかった。私に同調してくれる教員も数人出てきた。

1966年、故郷和歌山市の小学校に転勤した。ここでも教員ストには、私以外は全員参加した。

そんな最中、森信三先生とお逢いした。まさに「人間は一生のうち逢うべき人には逢える。しかも一瞬早過ぎず、一瞬遅過ぎない時に——」であった。

先生から「職場再建の三原則」、時を守り、場を清め、礼を正す、を教えていただき、この実践に努めた。実践人の家に入会し、研修会にも参加した。

1992年6月7日、第3回実践人企業セミナーで、初めて鍵山秀三郎先生にお逢いした。「凡事

徹底」と題したお話であった。

正しいと信じる道をひたすら歩み続ける鍵山先生の、まっとうな生き方と徹底した清掃実践に心をゆさぶられた。このとき、「箸よく盥水を回す」を教えていただいた。一本の箸でたらいの水をかき回しつづけていると、いつの間にか水は轟々と音をたてて回り出すとのこと。

たった一人で始めた鍵山先生のトイレ掃除の実践が、日本を美しくする会へと発展し、世界にも影響を及ぼすに至り、まさに轟々と音をたてて回り出している。

私は掃除に限らず、生き方や日常生活において、「箸よく盥水を回す」を自分の軸として努力している。

(599)0314 大阪府泉南郡岬町多奈川小島(620)

# 「古河掃除に学ぶ会」と 「凡事徹底塾」で変わった私

茨城県

板橋<sup>いたばし</sup>

孝司<sup>こうじ</sup>



創業125年の日本そば店を  
営んでいます。

1996年浦和高校で、東井  
義雄先生と鍵山秀三郎先生の講  
演、掃除実習があり、私は掃除か  
ら学ぶものはたくさんあると、感  
動しました。初めての实習では、  
便器にお荷物が一杯ありびっく

り。「これをやるのかよ」と思いま  
したが、そのうち頭を便器に突っ  
込んでいる自分がいました。あの  
感動は忘れられません。

1998年、黒澤昇氏、小山久雄  
氏を中心に「古河掃除に学ぶ会」  
を立ち上げました。第一回は荒れ  
ていた古河第一中学校で行い、参  
加者全員感動の渦に吸い込まれ  
ました。終了後、鍵山先生、田中  
義人顧問が、私の店でそば打ちを  
されました。笑顔であふれていま  
した。

1999年、鍵山先生の生き方  
に学ぼうと、十数名で「凡事徹底  
塾」を設立。古河市平成館での実習  
で先生にご指導いただきました。

全国各地の掃除に学ぶ会に参  
加しました。前広島県警本部長、  
竹花豊東京都副知事を応援しよ

うと、新宿歌舞伎町のお掃除にも  
参加し、私はグレイチングを担当  
しました。お財布、使い捨てライ  
ターがざくざく出て来て、「グレ  
イチングはガスがたまっているか  
ら気をつけなさいよ」と鍵山先生  
からアドバイスいただきました。

トイレ掃除は、ずぼらな自分  
を、「気が付いたらすぐする、後に  
延ばさない」自分へと変えてくれ  
ました。「物を大切に」する「時間  
を守る」「履物を揃える」もできるよ  
うになりました。良いことは続け  
る、自分中心の考え方や我を捨て  
る、人への感謝を実践中です。

お店は四代目が継ぎました。  
現在コロナ禍の中、仲間と月1  
回古河市のお雀神社を掃除して  
います。

# 健康・信用・佳き出会い、 そして「続ける」こと

静岡県

柿島 かきしま

由和 よしかず



私は、「健康」「信用」「佳き出会い」の三つを大切にして、「静岡教会の活動」と「早朝校内清掃＋生徒への挨拶・声掛け」を続けてきました。後者は3月末で14年、3千日連続の萬行達成です。「続けることで得たことが二つ

あります。「自信」と「信用」です。「誰にでもできることを誰にもできないくらい続ける」ことで精神が鍛えられ、続けることで揺るぎない「自信」が生まれました。また下座を続けることで、多くの方から信用を得ることができました。「信用」はお金で買うことはできません。座右の銘「金持ちよりも人持ちであれ」を、後ろ姿で生徒に教え導いてきました。

鍵山相談役の尊いご指導を仰ぐことができた私は幸せです。相談役や同志道友との出会いがなければ、私の人生は深みのないものになっていたことでしょう。実社会とかけ離れた教員社会で定年まで勤め上げることができたのは、お掃除と出会えたおかげです。「縁尋機妙 多逢聖因」は、

私の人生そのものです。相談役に教えていただいた平櫛田中の名言「俺がやらなきゃ誰がやる」は、私の信念を強固なものにしてくれました。

「幾多の辛酸を経て初めて志固し」「天の將に大任を是の人に降さんとするや、必ず先ずその心志を苦しめ、その筋骨を勞せしめ、その皮膚を飢えしめ、その身を空乏にし、行いには其の為す所を払乱せしむ」

「当今の毀誉は懼るるに足らず、後世の毀誉は懼る可し」  
相談役から受けた薫陶に心から感謝し、実践を通して次世代を担う若い人たちを育て、「やっておいてよかった」という種まきを続けて参ります。